

あるマインドコントロール途上の悲鳴

防備され

声なき声が集まる 部屋

窓？

窓から何が見えるというの？

無防備な者を追い立てるという欲望

その虜になってゆく

未完成を平気で曝けだす者を突き崩すという欲望

その虜になってゆく

ああ、なぜお前たちは気づかないのか

お前たち自身が生み出したものがお前たちをけが汚すのを

ああ、ここには完成された世界があるのだ

気づくがいい、窓など眺める者よ！

ばかげていると知りつつ信じたい

あらゆる疑念を振り捨てることこそは！……くそっ

ああ、僕はひとつひとつの変化に

あまりに鋭敏になりすぎているにちがいない

世界はそのくせ全てを要求してくる

細密化された創造物の増加などに目もくれず

限りない飛翔という時間など

もはや一瞬でしかなく、かつ

そのあとには頭を締め付ける哄笑を呼び寄せる

反駁の余地なき 被造物のかたまり

窓外の世界は我々を必要としてなどいない！

窓？

窓なんて

ああ、お願い

開けて下さい.....

(2001.10.8)